

家畜衛生だより 令和2年3月号

紀北家畜保健衛生所	電話	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	電話	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	電話	0735-58-1481

A群ロタウイルスによる子牛の下痢症について

子牛の下痢症は農場でよく起こる疾患で、子牛の発育が悪くなったり死亡したりすることもあります。原因は様々ですが病原体（ウイルス、細菌、寄生虫等）による感染性のものや消化不良等があります。

この冬、県内でロタウイルス（RV）による子牛の集団下痢の発生がありましたので、このウイルスについて紹介します。

特徴

RVはレオウイルス科に属するRNAウイルスで変異し易い特徴があり、抗原性の違いによりA～H群に分類されます。RVはヒトを含め多くの動物に感染しますが、牛ではA、B、C群が感染します。感染源として下痢便や汚染された器具、敷料、手指等が挙げられ、水平感染により集団発生します。

症状

RVAは子牛の下痢症を引き起こし、特に生後2週間以内の子牛では死に至ることもあり大きな被害を与えます。下痢は泥状～水様性で激しく、脱水症状やアシドーシス等の症状が見られます。RVB、RVCは成牛（主に搾乳牛）に集団下痢を起こします。稀にRVAによる搾乳牛の集団下痢が報告されることもあります。

診断

RVAは簡易診断キットが市販されており容易に診断ができますが、RVB、RVCは遺伝子型検査をする必要があります。

治療

脱水症状の緩和のため補液剤の投与や輸液、細菌の二次感染を予防するため抗生物質を投与します。

予防

RVA による子牛の下痢症には母牛に接種する不活化ワクチンが市販されています。初乳給与の徹底、産室の洗浄消毒も必要です。なお、RVB 及び RVC にはワクチンはありません。

まとめ

下痢症を完全に防ぐことは難しいですが、器具や牛舎の洗浄、消毒を徹底することで発生を減らすことができます。繰り返し下痢症が発生し、お困りの農家の方は試してみてもはいかがでしょうか。



牛房への石灰乳塗布（出典：農林水産省）

気になることや不明な点がありましたら、
所轄の家畜保健衛生所にお問い合わせください。